

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52231	幼児と環境 Infants and the environment	太田美鈴	✓	共通	1	必修	1後期
<b>科目の概要</b>							
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。領域「環境」のねらい・内容を理解し、保育の全体的構造の中の位置づけを知る必要があり、環境構成は保育者が意図的に構成しなければならない。また、SDGsの取り組みを理解し、領域「環境」と関連付けて保育を構成、再構成をする。さらに、獲得した知識・技術を活用し、課題解決力を身に付ける。★保育者としての実務経験があり、保育の専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材の活用法を理解する ③ 具体的な保育内容を想定した指導計画の作成方法を理解する ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ ⑤ 環境の特性に応じた実践の動向を知る				① 幼児理解に基づいた保育の構想ができる ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材を活用した保育ができる ③ 具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる ⑤ 環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	環境構成を積極的に考えることができる					
	働きかけ力						
	実行力	環境構成について多面的な視点から調べ、様々な環境構成の構築に活用できる。					
考え抜く力	課題発見力	身近な環境を保育内容に関連付け、ねらい・内容につなげることができる。					
	計画力						
	創造力	保育内容（環境）のねらい・内容を自身の生活や経験と結びつけて考えることができる。					
チームで働く力	発信力	自身で考えた、ねらい・内容を他者に分かりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：保育内容「環境」（第3版）編著 秋田喜代美・増田時枝・安見克夫・箕輪潤子（株）みらい 参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園保育教育要領解説書」							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉） 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格 准学校心理士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。				テキストや保育所保育指針等を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと 授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①		・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」について理解できている。10点 ・環境構成の重要な要素をねらい・内容から理解して考えることができる。10点 ・記述式の設問を入れ、獲得した知識・技術を活用し、応用的に整理できているかを評価する。	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①		✓
				②		
				③		✓
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点		
		②	✓	演習準備に不備がない。5点		
		③	✓	演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点		
		④	✓	実践するための指導案を作成することができ、ねらいと内容との整合性がある。10点		
		⑤	✓	自身の経験と結びつけて考え、調べ、工夫して作成していることが見て取れる。10点 植物の生長を観察する力が育ち、保育実践に関連付けて考えている。10点 環境構成の重要性を理解し、教材研究に努力した作品が作成できる。10点×2		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。	
			②	✓	（実行力）畑の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。	
			③	✓	（課題発見力）保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。	
			④	✓	（創造力）課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。	
			⑤	✓	（発信力）自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業を円滑に進行できるようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度（学習意欲欠如）が見られる場合は減点対象である 6回以上の欠席は放棄判定となる	
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。また、チームで積極的に取り組み、動植物の生育に対する観察・考察を深め、保育者を意識した取組ができる。 総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	作品、レポートなど課題に対し保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 人間の生活と環境について学ぶ。 SDGsや地球環境を考 えることの必要性に気 づく。	講義 グループ討議(人間に とって欠かせない野環 境について) 討議の内容を解説し フィードバックする。	授業の目的、内容、進 め方について理解し今 後の学修方法を知るこ とができる。 環境は人が生きていく うえで大切なものであ ることや幼児教育に とっての重要性を認識 することができる。	(復習) プリントを読 みこれからの授業内容 を再確認し、今後の予 定を立てる。	90	傾聴力 規律性
2	子どもを守る安全な環 境について、保育の最 も基本である子どもの 「安全」を保障するこ とを学ぶ。 保育環境におけるハ ザードとリスクを理解 する。	前回の学びを質疑応答し フィードバックする。 講義 DVD視聴(安全保育) グループ討議 DVDから子 どもの安全を守るための 配慮について 発表を解説しフィー ドバックする。	子どもの安全に配慮し た環境構成を発表し、 安全な環境について理 解できる。	(予習) 保育室の安全 な環境を考えておく。 (復習) 本日の授業を 振り返りまとめる。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
3	子どもと園の環境① 生き物や植物、自然の 事象に関心を持ち、保 育環境に関連づけて学 ぶ。 幼稚園児との芋ほりを イメージして指導計画 を立案する。	前回の学びについて質 疑応答しフィードバ ックする。 講義 指導案の立て方 の再確認 演習 芋ほりの指導案 を立てる。 指導案を解説しフィー ドバックする。	子どもの発達と環境と の関連性を見出し、 環境構成や保育者の役 割の重要性を理解でき る。	(予習) 園の環境につ いて調べ学習をする。 (復習) 本日の授業を 振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
4	子どもと園の環境② 生き物や植物、自然の 事象に関心を持ち、保 育環境に結び付けて学 ぶ。 保育者の援助・配慮を イメージして芋ほりの 指導計画を立案する。	前回の学びについて質 疑応答しフィードバ ックする。 演習 保育者の援助・配 慮をイメージして芋掘り の指導案を立案する。 指導案を発表する 発表の解説をしフィー ドバックする。	保育者の援助・配慮を イメージし指導案を立 案することができる。	(予習) 芋掘りの流れ をイメージしておく。 (復習) 本日の授業を 振り返り、他者の意見 を参考に指導案を改善 する。	90	主体性 実行力 創造力 柔軟性 規律性
5	幼児と楽しむ自然体験 ① 子どもの発達を促すた めに環境構成と結び付 けて考え、芋掘り後の 保育の展開を考案す る。	グループワーク 芋掘 り後の保育の展開をデ ザインする。 発表する 発表を解説しフィー ドバックする。	子どもの発達過程を理 解し、子どもの興味・ 関心につながる保育を デザインすることがで きる。	(予習) 子どもの発達 過程を調べておく。 (復習) 本日の授業を 振り返り、保育のデザ インを改善する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもの発達と環境と の関わりを学び、事例 を通して環境構成の重 要性を理解する。	前回の学びについて質 疑応答しフィードバ ックする。 講義 演習 事例検討 事例検討の考察を解説 しフィードバックする	事例を通して環境と子 どもの発達の関係性を 理解できる。	(予習) 子どもの発達 について調べておく。 (復習) 本日の授業を 振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	幼児と楽しむ自然体験 ② 自然を取り入れた遊び を体験をし、遊びを通 して学ぶことの意味を 理解する。 カモフラージュ、色 合わせ、フィールドビ ンゴなど	特別講師を招いてのグ ループワーク(岡崎 市役所職員) グループワーク 自然 を取り入れた遊びを体 験する。 レポート作成 本日 の授業を振り返りまと める。	幼児期からの環境学習 の必要性和遊びを通し て学ぶことの意味を理 解できる。	(予習) ネイチャー ゲームアクティビティ を調べる。 (復習) 本日の授業を 振り返りまとめる。	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
8	教材研究① 「自然物を使った遊 び」を考案し、保育内 容(環境)のねらい・ 内容と子どもの発達と の関係性を理解する。	前回の学びについて質 疑応答しフィードバ ックする。 演習 落ち葉の窓、 フィールドビンゴを作 成する 作品を解説し、フィー ドバックする。	幼児が経験する環境を 整えることは保育者の 役割であることを理解 し教材研究の必要性が 分かる。	(予習) 身近な自然 素材を調べ保育内容と しての活用を考える。 (復習) 本日の保育 内容の指導案を作成し ておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教材研究② 領域「環境」と幼児期の終わりまでに育って欲しい姿の関連性を学ぶ。 「自然との関わり・生命の尊重」に関する具体的な活動や保育環境の工夫を知る。	講義 絵本を通した命の教育 グループ討議 保育内容(環境)のねらい・内容と結び付けて考えを話し合う。 発表を解説しフィードバックする	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿の位置付けを知り、保育実践の方法を理解できる。	(予習) 幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を調べておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、命の教育の教材を考える。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	教材研究③ 様々な保育方法を研究し、知識・保育実践力を深める。 生活に必要な文字や数、量などに触れる保育の意味を理解し、具体的な保育実践を考える。	講義 演習 文字に興味・関心を持たせる保育を考える。 「おはなし迷路」の作成 作品について解説しフィードバックする。	文字や数、量などを保育に取り入れる意味を理解し、実践に活用できる。	(予習) 保育内容(環境)のねらい・内容を理解しておく。 (復習) 本日の授業を振り返り他の保育実践を考える。	90	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	自分を取り巻く社会の文化にふれる(社会的環境)に視点を置き、社会の文化にふれる子どもの育ちの意義と具体的な保育方法を学ぶ。①	講義 グループワーク 地域や日本の伝統について話し合い、伝承したい文化を発表する。 発表を解説しフィードバックする	地域や日本の文化にふれる子どもの育ちの意義を理解でき、グループの意見をまとめ、発表ができる。	(予習) 保育内容(環境)のねらい・内容を理解しておく。 (復習) 本日の授業を振り返り他の保育実践を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
12	自分を取り巻く社会の文化にふれる(社会的環境)に視点を置き、社会の文化にふれる子どもの育ちの意義と具体的な保育方法を学ぶ。②海外編	前回の学びについて質疑応答しフィードバックする。 講義 諸外国の保育と文化 グループワーク 他国の文化に目を向け、保育実践に取り入れる方法を考案する。 作品の助言を通してフィードバックする。	グローバルな社会に生きる子どもにとっての保育実践を考えることができる。	(予習) 保育内容(環境)のねらい・内容を理解しておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
13	環境構成と遊びの発展① 「乳児の保育室の環境構成を考える」	グループ討議 事例をもとに乳児保育の環境を討議し発表する。 発表を解説しフィードバックする	事例から乳児の発達を理解し、環境構成につなげて考えることができる。	(予習) 保育室の環境を構成するために必要なものを調べておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	環境構成と遊びの発展② 「幼児の保育室の環境構成を考える」	グループ討議 事例をもとに幼児の保育の環境を討議し発表する。 発表を解説しフィードバックする。	各グループの発表を実施し、互いに質疑応答を行うことでより良い環境構成を理解する。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	環境構成と保育者の役割について再確認し理解を深める。	講義 15回のまとめを解説し、フィードバックする。 演習 環境について学修したことをまとめ掲示物を作成する。	幼児と環境について学んだことを自覚し、保育実践に活用しようとする意欲がある。	(予習) テキスト、環境ノートを読み返しておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力